

テ、我々カ子々孫々ニ至ル永遠ノ問題トシテ常ニ教育勅語ト軍人勅諭ノ諸徳ヲ内容トスル日本人的性格ヲ堅持昂揚シ得ルカ否カトイフコトカ大東亞完成ノ鍵テアルト考ヘル次第テアル。

第五、民心把握上皇軍ノ著意スヘキ事項

一、別扱ノ實施ニ就テ

討伐ハ武装セル敵ヲ對象トスル戰鬥行爲テアルカ故ニ、比較的問
題カ尠イノテアルカ、別扱ハ地下ニ活躍スル敵ヲ目標トシ、通常部
落内ニ潜在シ良民トノ區分カ明瞭テナイ爲ニ、動モスルト誤ツテ良
民ニ危害ヲ及シ、或ハ之ニ乗シテ各種ノ犯罪乃至非道德的ノ行爲カ
行ハレルトイフコトニナルノテアル。而シテ何レノ場合ニ於テモ、
別扱ハ民衆ニ與フル影響頗ル大ナルモノカアルノミナラス、實施適

切ヲ缺ク場合ハ、動モスルト良民ノ虐待、殺傷、掠奪、放火、強姦等ノ凡ユル罪惡若クハ非道德的行爲カ行ハレ、民衆ヲ恐怖戰慄ニ陥レ、皇軍ニ對シ永遠ニ怨恨ヲ買フノ結果ヲ招來スルノ虞大ナルモノカアル。故ニ別決ハ狀況ノ許ス限り、下級部隊ノ獨斷ニ委スコトナク、大隊長以上ノ計畫ニ依リ細密ナ規定ヲ設ケ、將兵及隨屬スル日華人ノ行爲ヲシテ嚴格ナル紀律ノ下ニ實施スルヲ要スル。苟クモ曖昧ナル情報ヲ基礎トシ、不完全ナ準備ヲ以テ苟且ニ實施スルカ如キコトハ戒メナケレハナラナイ。軍隊ニ隨屬スル日華人等ノ取締監督ニ就テハ、特務機關、憲兵等トモ連絡ノ上、直接別決ノ實施ニ任スル當該部隊長ノ責任ニ於テ嚴格ニ實施セラレナケレハナラナイ。尙細部ニ亙ルカ、良民テアルカ、八路ノ工作員テアルカトイフコトハ少クモ其ノ部落民ハ皆承知シテ居ルノテアルカラ努メテ之ヲ參考トスルカ

宜シイ。「別抉ノ際虐待セラレ、殺害セラレ、或ハ連行後殺害セラルル者ノ中ニハ良民カ非常ニ多イ」日本軍ニ隨屬スル支那人等ハ、別抉ノ際其ノ部落ニ八路軍ノ工作員カ居テモ夫レニハ眼モ呉レス、富豪ノ家ニ進入シテ財寶ト女トヲ掠メル、夫レカ少シテモ思フ様ニナラナイト其ノ主人等ヲ虐待殺傷スル「良民ヲ殺スコトト民家ヲ燒クコトタケハ何トカシテ止メテ貰ヒ度イ」トノ聲ハ支那人カラ屢々耳ニスル所デアル。假令斯ノ如キ行爲カ將兵ノ所爲テナイトシテモ、軍ハ責任ヲ免レルワケニハ參ラナイ。私ハ將來軍隊幹部以下ノ自覺ト監督ノ勵行トニ依リ、斯ノ如キ行爲ヲ絶無ナラシメ度イト思フ。斯ノ如キ行爲カ行ハレル限り其地方治安ノ確立ハ絶對ニ有リ得ナイ。

二、通敵通匪者トシテノ處斷ニ就テ

別抉搜查等ノ場合良民ノ家宅カラ敵側ノ通信ヲ發見シタトイフコ

トタケヲ以テ、其支那人ヲ通敵者トシテ處斷スルコトハ酷テアリ又
危険テアル。支那ノ社會習俗カラスレハ現在ノ様ナ時ニ、八路側ヤ重
慶側カラ皇軍占領地下ノ要人ニ對シテ誘惑乃至脅迫等ノ手紙カ舞込
ムコトハ有リ得ルコトテアリ、否敵側トシテハ重要ナル施策ノ一ツ
トシテ考ヘテ居ルテアラウ。彼等要人等カ何等通敵ノ意思ゾナイ場
合ニモ、此ノ種ノ手紙ハ舞込ム、又我方ニ忠實ナ支那人ニ特ニ要人ヲ
日本側ノ手ニ依ツテ葬ムラウトスル敵ノ謀略モ從來屢々見タ所テア
ル。ニ應答疑者トシテノ取調ノ必要ハアルカ、是トテモ手紙ヤ密告ヲ
基礎トシテ先入主觀的態度ニ偏スルコトハ戒メナケレハナラナイ。
敵カ占據シタ部落ノ民衆カ敵ニ強要セラレテニ時的ニ勞役ニ服シ
金錢物資住居等ヲ提供シタトイフコトヲ以テ、一概ニ通敵トシテ處
斷スルコトモ亦同前テアル。武器ヲ持ツタ者ノ前ニ、民衆カ其ノ強

要ニ應スルコトハ某程度止ムヲ得ナイコトテアル。日本テモ強盜ニ脅迫サレタ者カ、自己ノ意思ニ反シテ敵ニ從フコトノアルコトハ一般的ニハ認メラレテ居ル。然ルニ從來此ノ種ノ民衆ヲ通敵トシテ處斷シタ例ハ尠クナイ様テアル。其ノ部落ニ據ツタ敵ノ抵抗カ頑強テ、之ヲ攻撃スル爲ニ多クノ犠牲ヲ出シタ様ナ場合ノ將兵ノ心理ハ、同情スヘキモノカアルカ、サレハトテ一時ノ感情ヲ以テ斯ノ如キコトヲスルコトハ慎マナケレハナラナイ。又斯ノ如キ場合同様ノ理由テ其ノ部落ヲ燒ク様ナコトモアルヤニ聽イテ居ルカ、若シ事實トスレハ嚴ニ戒心ヲ要スルコトト思フ。四千年來支那テハ動亂カ絶エス、其ノ間隨分惡イコトカ行ハレタカ、夫レテモ民家ニ火ヲ付ケルコトハ比較的遠慮セラレテ居ル。民國十五年蔣介石ノ北伐ノ際、共產黨カ湖南湖北等ニ於テ此ノ種ノコトヲヤツタメテ現在尙恨マレテ居ル

トノコトデアル。皇軍トシテハ上司ノ計畫ニヨリ、政策上某地方ヲ
限り無住地帯ヲ設定スル等ノ場合ハ、別テアルカ其ノ他ノ場合下級
部隊等カ擅ニ民家ヲ焼クカ如キコトカアレハ夫レハ嚴戒シナケレハ
ナラナイ。

三、勞務ノ徵用ニ就テ

支那テハ昔カラ民衆ヲ兵役ニ服セシムル爲、或ハ軍ノ勞務ニ服セ
シムル爲、或ハ不規律ナ軍隊ヤ匪賊カ移動ノ際荷物運搬等ノ爲民衆
ヲ強制的ニ徵用スルコトカアル。之ヲ拉夫ト稱シ惡徳ノ一ツニ數ヘ
ラレテキル。今日皇軍トシテモ治安維持ノ大局カラ緊要ナ場合、例
ヘハ警備道路、遮斷壕、樞舎ノ構築等ノ如キハ其要否ヲ考ヘ、又財
政上ノ考慮等ハ一應考ヘナケレハナラナイカ、一時的ニ多少非難ヲ
押シテモ之ヲ實行シナケレハサラナイ場合カアル。

然シ乍ラ是等ト雖モ、上司ノ計畫ノ下ニ實施スヘキモノテアツテ
下級部隊等カ勝手ニヤルヘキコトテハナイ。

以上ノ外、軍隊ノ討伐、駐留等ノ場合一時的或ハ半永續的ニ民衆
ヲ徵用スルコトノアルコトハ止ムヲ得ナイト思フカスノ如キ勞役ハ
下級部隊トシテハ軍隊自ラ行フコトヲ原則トシ度クナイ、止ムヲ得
サル場合ニ於テハ必要ノ最少限トシ、且此ノ場合ハ賃金仕拂ヒヲ明
確ナラシメ、苟クモ將來軍隊カ民衆ノ非難ヲ受ケルカ如キコトナキ
ヲ要スル。又單ナル個人ノ便益ノ爲ニ支那人ヲ徵用スルコトハ嚴ニ
戒メナケレハナラナイ。

四、物資ノ利用徵發ニ就テ

以上勞務ノ外、糧食其ノ他物資、器材等ヲ徵用スル場合軍隊トシ
テハ特ニ規律ヲ嚴守スルコトカ肝要ナコトテアル。最近戰爭ノ進展

ト共ニ現地自活ノ必要性カ増大シテ來タ。我々ハ萬難ヲ排シ國家ノ政策ニ即應シナケレハナラナイ。

然シ現地自活主義ハ其ノ運用ヲ誤レハ現地資源ヲ涸竭シテ持久性ヲ失ハシメ民心離反ノ因ヲナスノミナラス、軍紀ヲ紊亂シ、軍隊ヲ墮落セシムルノ結果ヲ招來スルコトアルヲ以テ、之カ實施ハ作戰要務令第三部第二章ノ規定ノ趣旨ニヨリ、司令部等ニ於テ購買等ヲ行フヲ可トスル。止ムヲ得ス各部隊自ラ實施スル場合ハ、同令第三部第百六十五ノ規定ヲ遵守シテ行ヒ、特ニ同條ニ示ス如ク細密ナル規則ヲ設ケ、至嚴ナル監視ノ下ニ施行セシメ、且其ノ狀況ヲ高級指揮官ニ報告スルヲ要スルノテアル。

軍隊カ作戰ノ爲宿營スル場合、家屋其ノ他ノ利用ニ當リテハ上司ノ規定スル所ニ從フハ勿論、可及的民衆ニ迷惑ヲ及ササル如ク考慮

シナケレハナラナイ。

五、支那人ヨリノ贈物ニ就テ

軍隊カ一地ニ駐屯スルト、通常其ノ部落ノ名望家カ部落民ヲ代表シテ、其ノ隊長ニ敬意ヲ表シ同時ニ其ノ隊長等ヲ悦ハスニ足ル多少ノ物品ヲ贈ルノヲ例トスル。然シ文字ハ如何ニ書イテアツテモ、夫レハ必スシモ心カラ隊長ノ徳ヲ慕ツテ居ルトカ、軍隊ノ駐屯ヲ感謝シテキルトカトイフ意味カラテハナイ。彼等ハ却ツテ是等ノ物品ヲ受取ル程度ニ依ツテ、隊長ナル者ノ清廉ノ如何ヲ試験シテキル。従ツテ民心把握ノ爲ニハナルヘク斯ノ如キモノヲ受取ラナイ方カ民衆カラ尊信ヲ受ケルノテアル。

六、一般邦人ニ對スル態度ニ就テ

戦時ハ敵ニ捷ツトイフコトカ第一テアル。而シテ武力ハ戦争行爲

ノ中核ヲナス。此ノ意味ニ於テ戰時ノ總テノコトカ軍ヲ中心ニシテ
行ハレル。之ハ當然ナコトアル。戰時國民カ軍隊軍人ヲ尊敬シナ
イ様ニナツタラ其ノ國ハ滅ビル。從ツテ國家ノ政策トシテハ國民カ
軍隊軍人ヲ尊敬スル如ク凡ユル手段方法ヲ盡サナケレハナラナイト
同時ニ軍隊軍人トシテハ、愈々修練内省ヲ積ミ、軍ヲ精強ニシ、戰場
ニ立派ナ働キヲシテ此ノ國民ノ負托ニ酬イナケレハナラナイ。國家
カ政策トシテ軍隊軍人ヲ尊敬セシムルカ故ニ、又國民カ軍隊軍人ニ
對シ凡ユル奉仕ヲ爲スノ故ヲ以テ、軍隊軍人ノ態度カ國民ニ對シ苟
且ニモ驕リ傲フルカ如キコトカアツテハナラナイ。軍隊軍人トシテ
ハ常ニ邦人ニ感謝シ邦人ノ奉仕ニ酬ユルノ心カナクテハナラナイ。
滿洲事變以來、就中今次支那事變後軍人ノ中ニハ、動モスルト一
般邦人ニ對スル態度カ此ノ著意ニ缺ケ、甚タシキハ暴慢ナ態度ヲ以

テ臨ミ或ハ自分サヘ善ケレハヨイト謂ツタ態度ノモノヲ見受ケル。

吾々ハ「常々人に接るには溫和を第一とし諸人の愛敬を得むと心掛
けよ由なき勇を好みて猛威を振ひたらは果は世人も忌嫌ひて豺狼な
この如く思ひなむ。心すへきここにこそ」ノ聖諭ヲ遵守シ、此ノ重
大時局ニ於テ愈々軍民一體ノ實ヲ揚ケナケレハナラナイト思フ。

七、民心把握ト對敵行動トノ關係ニ就テ

以上民心把握ノ爲我々ノ著眼スヘキ事項ヲ申述ヘタ。唯茲ニ一言
老婆心迄ニ附ケ加ヘテ置キ度イコトハ、民心把握上、以上ノ如キコ
トニ注意ヲ倍蕪スルカ爲ニ軍隊カ苟且ニモ對敵行動ヲ躊躇スルカ如
キコトカアツテハナラナイ。又敵ノ武裝團體ニ對スル懐柔ノ如キハ
軍隊トシテ多ク干與スヘキモノテハナイ。軍隊ハ武裝セル敵カ居ル
コトヲ知ツタナラハ、直チニ勇敢ニ討伐ニ進マナケレハナラナイ。

是カ軍ノ本領テアル。然シ直チニ勇敢ニト謂フコトハ、敵ノ兵力ヤ状態ノ如何ニ拘ラス、搜索モ警戒モシナイテ猪突猛進セヨトイフコトヲ意味スルコトテハナイ。特ニ八路军ノ如キ抗日意識極メテ旺盛ニシテ政治的思想的戦術ニ特技ヲ有スルノミナラス、武力戦法ニ於テモ相当見ルヘキモノヲ持ツ敵ニ對シテ然リト考フルモノテアル。八路军ノ戦法ヲ改メテ詳シク申述ヘル必要ハナイカ、要スルニ其ノ特徴トスル所ハ、地上ニ於ケル僅少ナル武力ノ行使ト、地下民衆工作トヲ併用シ、同民族タル有利ナル地位ヲ利用シ、巧妙ナル宣傳、教化、懷柔ト嚴罰ノ威嚇トヲ以テ地下ニ於ケル民衆ノ獲得圈ヲ逐次擴大シ日本側ノ弱點ヲ求メテハ獲得シタル民衆ト、地上武力トヲ集結使用シテ、日本軍又ハ華側ノ抗戦力ヲ破碎スルコトヲ努メテ居ル。要スルニ彼等ノ目標ハ抗日民心ノ把握テアリ、抗日人員資源ノ獲得ニ在

ル。武力戦ノ部面ニ於テモ山岳其他不毛ニ近イ地ニ根據ヲ持チ、困苦缺乏ニ堪ヘ、極メテ困難ナル環境ニ追ヒ込マレテモ、反復執拗ニ反抗シ或ハ巧ミニ他ノ地域ヲ開拓シ止ムヲ得サルモ耐忍持久戦機ノ到來ヲ待ツ、又ヨク創意工夫シテ相手ノ意表ニ出ツルコト、機動力ニ富ミ命令一下ヨク集散離合スルコト、相手ノ弱點ヲ看破シテ巧ニ之ヲ突クコト、相手ヲ誘致シテ之ヲ包圍殲滅ニ導クコト、一兵ニ至ルマテ生命ニカゲテモ軍ノ秘密ヲ嚴守シ口外セサルコト、嚴重處斷ノ勵行ニヨルトハ言ヘ軍律力嚴守セラレテ居ルコト等ハ我等ノ大ニ參考トスルニ足ルモノカアル。

我等當面ノ敵ハ斯ノ如キ性格ヲ所持スルモノナルカ故ニ、八路軍ニ對シテハ其ノ地下工作ヲ破碎スルコトヲ努ムルト共ニ、特ニ我方長所タル地上武力ノ有効ナル發揮下之ニ必要ナル施設ノ強化ト根

本ノ問題トシテ民心ノ把握トニ著眼シナケレハナラナイ。就中軍隊トシテハ將校ノ戰術的識能ヲ向上スルコトニ依リ、我方ノ長所タル地上武力ノヨリ有効ナル發揮ニ努メナケレハナラナイト思フ。

之ヲ要スルニ軍トシテモ今次戰爭ノ本質ニ鑑ミ、民心把握上考慮反省ヲ要スヘキモノカ尠クナイト思フ。過去ニ於テ自由主義ノ妨害ニヨリ多ク進展シナカツタ國家全般トシテノ總力戰態勢ハ大東亞戰ノ開始ト共ニ著々ト整備セラレツツアル。我等軍人軍隊ノ戰地ニ於ケル行動ニ於テモ過去ノ武力戰ノミノ狹少ナ考ヘカラ脱却シテ長期持久總力戰ノ態勢ニ飛躍シナケレハナラナイ。總力戰ハ對民衆ノ獲得戰テアリ、民心ノ把握戰テアル。我々ハ武力戰ニ勝ヲ占メルト共ニ、民心ノ把握戰ニ優勝シナケレハナラナイ。武力戰ニ勝ツテモ民心把握戰ニ負ケレハ戰爭全局ノ勝利ヲ得ルコトハ出來ナイノテアル。

總力戰ハ我等軍人軍隊ノ對民衆接觸部而ヲ増大シ、武力戰ノ實施ヲ
複雑困難ナラシメ武力戰ニ關聯シテ特ニ對民衆施策考慮ヲ重視セサ
ルヘカラサルニ至ラシメタ。軍人軍隊ノ規律ニ於テモ、單ニ從來ノ
武力戰的軍紀ヲ維持スルトイフコトノ外ニ、對民衆軍紀ヲ確立スル
コト特ニ一般民衆ヲ抱擁愛護シテ我方ニ協力セシムルコト、茲ニ
一般民衆ト兵匪又ハ敵側工作員トノ選ヲ誤マラサルコトノ考慮カ肝
要トナツテ來タノテアル。「一般民衆竝ニ彼等ノ家屋、彼等ノ持ツ
財産諸物資ハ大東亞完成ノ爲ノ我等ノ寶テアリ、武器テアル、之ヲ
失ヒ之ヲ敵ニ與フルコトハ、寶ヤ武器ヲ失ヒ之ヲ敵ニ與フルコトト
同一テアリ、又精神的ニモ、物質的ニモ、民衆カ疲弊シ困窮スルコ
トハ、即チ夫レタケ我等ノ戦力ヲ失フコトニナルノテアルト謂フコ
ト」ヲ一兵ニ至ル迄十分ニ徹底サセ度イト思フ。